

令和2年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属特別支援学校における研究の成果を全国へ発信する取組
事業実施代表者名	校長 紀藤 典夫
実施附属学校名	北海道教育大学附属特別支援学校
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>本事業では、様々な方法で本校で行う研究を道内及び全国へ発信することを目的としている。</p> <p>事業の方法として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公開研究協議会の開催 ②各種学会での発表 ③研究成果物の作成 ④他校との研究交流 ⑤その他（HP等） <p>であるが、今年、新型コロナウイルス感染症対策のため、本校の人を集めた公開研究協議会を開催することをやめたり、各種学会がオンライン開催になったりしたことで、発信についてはオンラインを中心に行うこととした。</p> <p>本校は「育成を目指す資質・能力と知的障がい教育の学び」をテーマに、それぞれの子どもたちに必要な力の育成について教育課程に盛り込むことを目指してきた。その中で、子どもたちが育ち地域性、将来の地域の姿などを踏まえた検討が必要であることから、教育現場だけではなく他業種の専門家との研究を進めることに発展した。将来の子ども像だけではなく、将来の地域の姿を見据えた資質・能力の育成に向けたカリキュラム作りにつながっている。</p> <p>また、今年度は各種学会がオンライン配信等のみになり、発表の場を十分に確保することができなかったが、北海道特別支援教育学会道南支部で行うシンポジウムにおいて、本校の研究内容を発表した。</p> <p>さらに、道内の特別支援学校（道東）との共同研究を通して、本校の研究内容を発信することも引き続き行った。</p> <p>研究紀要ではない「分かりやすい研究説明」を目指し作成したリーフレットを道内の特別支援学校に配布した。さらに、2年間の研究の成果は、研究紀要として作成し、全国へ発信する予定である。</p>
成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)	<p>今年度は「これからの函館で自分らしく生きるための学びのデザイン」のために、今年度は単元を通じた資質・能力の育成について研究を進め、単元デザインシートを作成し、その作成と活用を試みながら、その実際を授業という形で配信した。授業は年間</p>

	<p>2回の動画配信を行い、1回目は授業を1単位時間通しての動画配信、2回目は単元計画と照らし合わせたポイントを絞った配信となった。</p> <p>公開研究協議会にて講演予定だった弘前大学大学院の菊地一文教授には、年度当初から本校の授業をキャリア発達という視点で助言をいただいております、その内容を含めた「主体的・対話的で深い学びとキャリア発達支援」の講演も動画配信を行った。</p> <p>2回目に行った12月の授業配信は、今年度教育実習を行うことのできなかつた4つの大学の学生のための授業において4つの大学で活用し、173名の学生が視聴した。</p> <p>また、研究の内容は特別支援学校の校内での初任段階研修や職員研修での活用にもつながった。中標津支援学校と釧路養護学校と本校でZoomによる会議を行い研究の交流も行っている。</p> <p>今回の研究の配信については、全国の特別支援学校からも参考にされ、5校の附属特別支援学校の研究部長によるZoom会議により情報提供を行った。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>本校の任務や本学の中期目標・中期計画の実現へ向け、大学及び教職大学院との連携をさらに強め、引き続き本校の研究の様々な取り組みを全国、全道、地域へ発信していくことは必要なことと考える。また、開かれた教育課程を実現させるため、地域の将来をイメージした教育課程づくりをさらにすすめることも必要と考えている。子どもたちが将来社会自立をする地域をどのようにイメージするかを、保護者及び地域と共有しながら、授業づくりにつなげていく研究を進めていきたいと考える。</p> <p>今後はさらに、研究内容だけではなく道内の研修を望む地域において、特別支援学校や特別支援学級担当者の専門性向上に向け、本校の研究成果を踏まえた「児童生徒理解」及び「授業改善」等の研修や相互研究に発展する可能性は大いにあると考える。</p> <p>本校で実施する授業公開や公開研究協議会を地域に公開するとともに、教育実践内容の拡がりにさらに取り組んでいきたい。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>北海道新聞、函館新聞及び北海道通信に公開研究協議会について掲載された。その他、本校ホームページ上に、研究活動において研究の外部発表への取り組みと、入試情報にける出願状況、活動の様子等において随時更新掲載している。</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。